

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	薬理学	
科目基礎情報					
開設学科	鍼灸科	コース名		開設期	前期
対象年次	3年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	大鹿英世・吉岡充弘・井関健 著：系統看護学講座 専門基礎分野、薬理学、疾病のなりたちと回復の促進[3]、医学書院、2018				
担当教員情報					
担当教員	本多 秀雄		実務経験の有無・職種	有・薬学博士・医学博士	
学習目的					
基本的な薬と人体の関係を学ぶ。現在の医療現場では、薬剤の知識は必須である。鍼灸施術を受ける患者も何らかの薬剤を使用している場合が多く、薬剤の性質を知ること、副作用の状態や相乗効果を期待するための知識を学ぶ。					
到達目標					
薬理学は「薬の人体における作用と動態を研究し、合理的薬物治療を確立するための科学」と規定されている。本授業では、薬理学の専門領域である新薬候補物質の有効性と安全性を評価する方法、医薬品として認可された後も、多数の使用例を検討しつつ、適正な薬物治療を確立してゆくために必要な基本的知識、さらに治療対象となる患者（年齢、性別、生理的状态等）側に立った薬物動態の知識、さらに薬の作用と薬効についても概説する。					
教育方法等					
授業概要	「薬」の基礎的な概念や薬効を学ぶとともに、身体内でどのような過程を経て効果を発現するかを学ぶ。さらに良く使われる薬剤を紹介し、どのような薬効を示すかを学ぶ。また、呼吸器、消化器、神経に作用する薬剤を学ぶことを目的とする。				
注意点	授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。 課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	100%	期末試験		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 （口頭・実技）	0%			
	平常点	0%			
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	総論 1		薬理学の概念、薬物の作用とその発現機構を理解する		
2回	総論 2		薬物の吸収、分布、代謝、排泄、薬物相互作用、薬害、薬の管理、新薬の開発に関する内容を理解する		
3回	抗感染症薬 1		抗生物質を理解する		
4回	抗感染症薬 2		抗ウイルス薬、抗真菌薬を理解する		
5回	抗ガン薬 1		アルキル化学、代謝拮抗薬理解する		
6回	抗ガン薬 2		抗生物質、植物アルカロイド、性ホルモン理解する		
7回	呼吸器に作用する薬物		呼吸器に作用する薬物を理解する		
8回	消化器・生殖器に作用する薬物		消化器・生殖器に作用する薬物を理解する		
9回	末梢神経作用薬1		神経による情報伝達に関する内容を理解する		
10回	末梢神経作用薬2		交感神経作用薬を理解する		
11回	末梢神経作用薬3		副交感神経作用薬を理解する		
12回	末梢神経作用薬4		筋弛緩薬を理解する		
13回	末梢神経作用薬5		局所麻酔薬を理解する		
14回	人体に及ぼす総合的薬理作用		薬物使用における留意点を理解する		
15回	総合講義		全体の総まとめ		